

令和元年度 第8回高松圏域自立支援協議会運営会議 議事録

日時：令和元年12月13日（金）10：00-12：00

場所：かがわ総合リハビリテーション福祉センターAV会議室

参加者：高松養護学校養護学校、香川中部養護学校

直島町住民福祉課

就労支援部会) かがわ総合リハビリテーションセンター

精神保健福祉部会) 障害者地域生活支援センターほっと

相談支援部会) 障害者生活支援センターたかまつ

身体障害者支援部会) 障害者生活支援センターあい

知的障害者支援部会) 相談支援センターりゅううん

発達障害部会) 発達障害者支援センター「アルプスかがわ」

こども部会) 地域生活支援センターこだま

医療的ケアプロジェクト) 支援センターこがも

当事者団体・家族会連絡会) 相談支援事業所ライブサポートセンター

居宅サービス事業所連絡会) 高松市社会福祉協議会

居宅サービス事業所連絡会) 地域活動支援センタークリマ

事務局) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

会長) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

17名

議題①各部会等報告

○就労支援部会

特記なし。

○精神保健福祉部会

・大川圏域の精神障がいにおける協議の場について検討している。大川には精神科病院がない。長期入院者を住所地で分けるのではなく、医療機関ごとに対応していく必要があり、今後も大川との連携が必要。

・2/12に実施予定の医療と福祉の支援者の連携・交流企画については、関係者同士の相互理解を促進するため、時間の半分を自己紹介に充てる。

→相談支援部会の共催とすることを承認する。

○相談支援部会

・相談支援部会内で挙がっている課題について、部会内で協議整理していく体制をどのように作っていけばよいか？重度訪問介護に関することと、日常生活用具に関することについてまずワーキンググループを作って取り組むという提示を部会内で行ったが、身体障害者部会や医療的ケア部会、居宅サービス事業所連絡会にも関連する内容である。

→相談支援部会内に、挙がってきた課題の中からどれに取り組むのかを検討するワーキングがあってもよいのではないか。

→人数が多すぎると発言しにくい部分もある。就労支援部会のようにチームを分け、全体会でまとめるような体制を作るのはどうか。

→取り組む内容により、各部会等とのコラボレーションも考えられる。

⇒部会の在り方について検討してみる。

○身体障害者支援部会

・データ入力用のソフトが出来次第、アンケートの配布を行う予定。

○知的障害者支援部会

・入所施設からの地域移行に関するアンケートを検討し、相談支援部会で実施できるよう依頼したい。

○発達障害部会

・高松市生活福祉課への研修について、継続していく。

→研修後、ワーカーと本人が地域拠点に来所したケースがあった。研修の効果かもしれない。

・生活ガイドブックについては、来年度触法に関することに取り組めれば。

○こども部会

略。

○医療的ケア部会

・医療的ケアコーディネーターについては、39名養成されたうちの20名が高松圏域の関係職種。

・コーディネーターの配置については、それぞれの専門性を活かしながら活動できる形を考えたい。

○当事者団体・家族会連絡会

・12/3、見学会の参加家族については、知的障がいのご家族が多かった。

○居宅サービス事業所連絡会

・11/28、サービス提供責任者研修を実施。19事業所から23名のサービス提供責任者（うち4名が実行委員）、相談支援事業所から8名（うち5名が実行委員）、行政1名の参加。従来の連絡会に比べ、わずかに参加者は増。

○地域生活支援拠点検討部会

・11/14、緊急時プランの検証を行った。今後も内容を定期的に把握し、より緊急時に実効性のあるプランになっていくように課題を整理していく必要がある。

・今後の取り組みについて、将来に向けた家事援助の導入（家族がいても利用できる）や、一人暮らしの体験の場についても検討が必要ではないか。

・虐待認定にならなかった事案が、避難的に短期入所を利用することがある。一時的な受け入れだけでなく、根本的な解決のため、対応のノウハウを専門医機関に学ぶことも必要か。

議題②事務局より

○防災に関すること

・熊本では、台風が熊本に来ると予報されたら医ケアの方は事前に確認した医療機関に避難するという取り決めを行っていたため、熊本地震の際もそれに準じて（台風以上の取り決めがあったわけではないが）医療機関への避難と受け入れが出来たという例がある。

・小豆圏域では、災害時の避難先として観光ホテル（非常電源の確保ができる）が活用できないかとの意見がある。

→特に医ケアの災害時対応について、どのような備えを考えていくのかの方策が必要。次回までに事務局で検討する。

○児童の就学の課題（進捗報告）

どのくらいこの課題に相談支援専門員が関与できているのか。決定は本人家族が行うものだが、もう少し相談支援がアプローチできないか考えるための情報収集を行いたい。

次回 1月10日（金）10：00-12：00 かがわりハ AV会議室にて *9：15-9：45 打合会